

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年01月04日

計画の名称	第三次田原本町における快適で活力ある暮らしの実現（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～平成34年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	田原本町												
計画の目標	地域特性、人口減少等の社会情勢の変化を考慮し、効率的かつ適正な処理区域の設定及び整備運営手法の選定を行い、計画的に下水道整備を進める。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,250	A	1,250	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28末	H32末	H34末
1	下水道処理人口普及率を95%（H28年度末）から98%（平成34年度末）に増加。			
	下水道処理人口普及率（%）	95%	97%	98%
	下水道を利用できる人口（人）/総人口（人）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	地域再生計画を含む
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	-----------

A 基幹事業

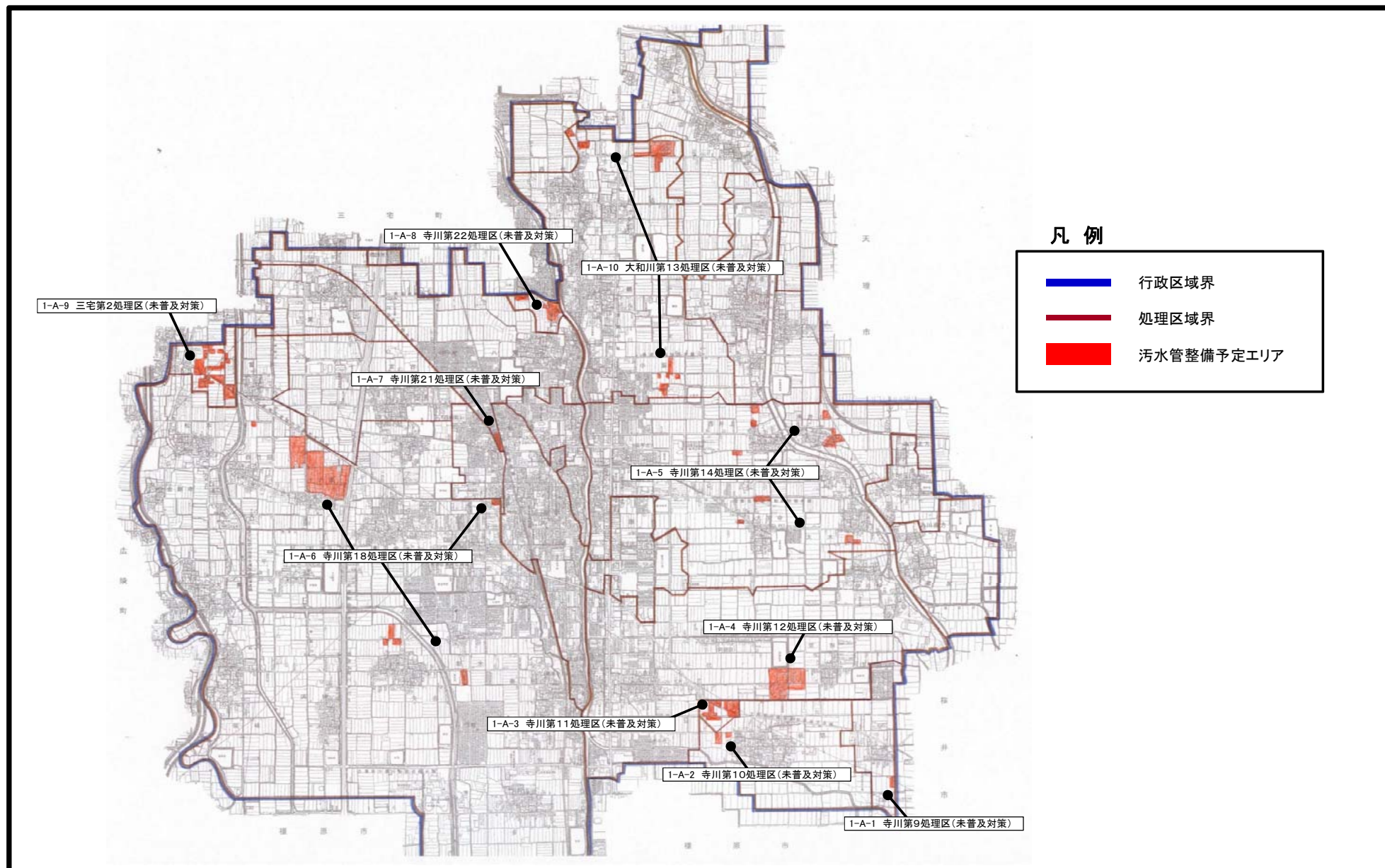
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	H32	H33	H34				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	田原本町	直接	田原本町	管渠(汚水)	新設	寺川第9処理区(未普及対策)	汚水管 250・200mm L=0.20km	田原本町						51		-	
	A07-002	下水道	一般	田原本町	直接	田原本町	管渠(汚水)	新設	寺川第10処理区(未普及対策)	汚水管 250・200mm L=0.13km	田原本町						28		-	
	A07-003	下水道	一般	田原本町	直接	田原本町	管渠(汚水)	新設	寺川第11処理区(未普及対策)	汚水管 250・200mm L=0.62km	田原本町						152		-	
	A07-004	下水道	一般	田原本町	直接	田原本町	管渠(汚水)	新設	寺川第12処理区(未普及対策)	汚水管 250・200mm L=0.26km	田原本町						75		-	
	A07-005	下水道	一般	田原本町	直接	田原本町	管渠(汚水)	新設	寺川第14処理区(未普及対策)	汚水管 250・200mm L=0.73km	田原本町						179		-	
	A07-006	下水道	一般	田原本町	直接	田原本町	管渠(汚水)	新設	寺川第18処理区(未普及対策)	汚水管 250・200mm L=0.95km	田原本町						235		-	

A 基幹事業

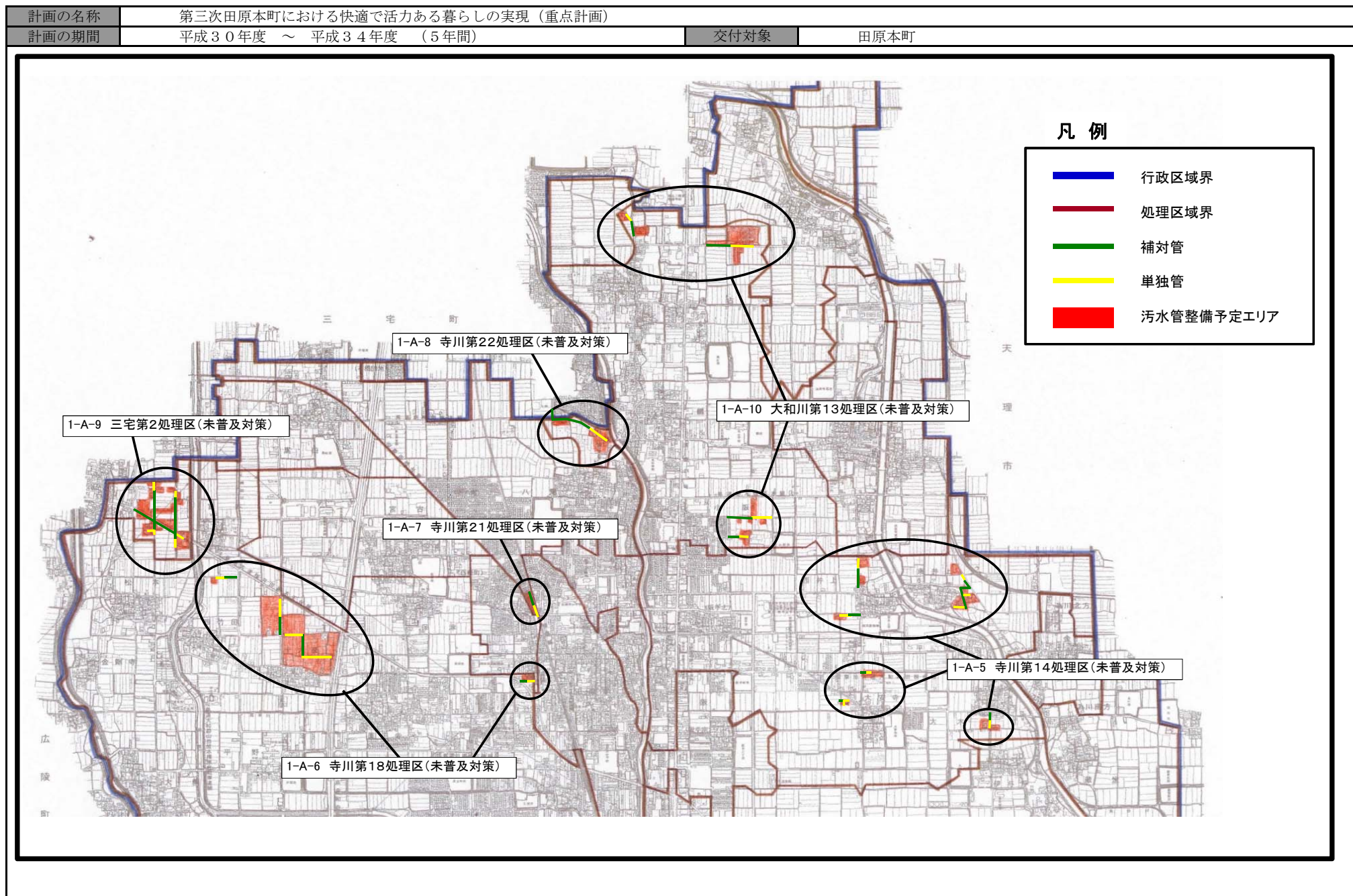
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	H32	H33	H34			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	田原本町	直接	田原本町	管渠(汚水)	新設	寺川第2 1 処理区(未普及対策)	汚水管 250・200mm L=0.12km	田原本町						40	-	
	A07-008	下水道	一般	田原本町	直接	田原本町	管渠(汚水)	新設	寺川第2 2 処理区(未普及対策)	汚水管 250・200mm L=0.33km	田原本町						83	-	
	A07-009	下水道	一般	田原本町	直接	田原本町	管渠(汚水)	新設	三宅第2 処理区(未普及対策)	汚水管 250・200mm L=0.89km	田原本町						225	-	
	A07-010	下水道	一般	田原本町	直接	田原本町	管渠(汚水)	新設	大和川第1 3 処理区(未普及対策)	汚水管 250・200mm L=0.72km	田原本町						182	-	
												小計						1,250	
												合計						1,250	

(参考様式2) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	第三次田原本町における快適で活力ある暮らしの実現 (重点計画)		
計画の期間	平成30年度 ~ 平成34年度 (5年間)	交付対象	田原本町

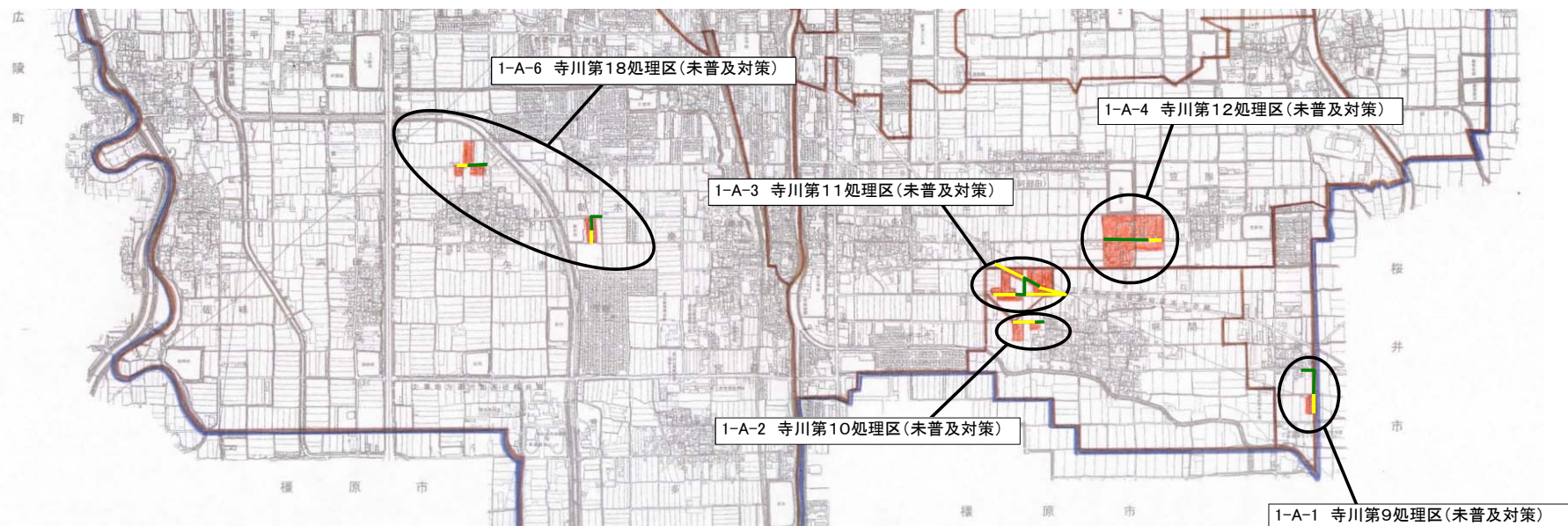


(参考様式2) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)








(参考様式2) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	第三次田原本町における快適で活力ある暮らしの実現 (重点計画)		
計画の期間	平成30年度 ~ 平成34年度 (5年間)	交付対象	田原本町



凡例

	行政区境界
	処理区域界
	補対管
	単独管
	污水管整備予定エリア

事前評価チェックシート

計画の名称： 第三次田原本町における快適で活力ある暮らしの実現（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との整合性 1) 都道府県構想と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との整合性 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性） 1) 地域の課題を踏まえた目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 1) 定量的指標は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 2) 定量的指標・数値目標が住民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 1) 計画の目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 2) 定量的指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性 1) 十分な事業効果が確認・期待されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性 2) 基幹事業と効果促進事業の一体性が確保されている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性） 1) 計画に具体性があり、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性） 2) 計画について住民や関係機関等の中で合意が形成されている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動、関連事業との連携等による事業効果発現の確実性） 1) 住民等から事業実施の要望がある。	○